

あけましておめでとう!!

2012年がスタートしました!!

昨年は日本全体に自然災害などさまざまな困難が降りかかった1年でした。
新しい年が平穏無事で、みんなにとって素晴らしい年になるよう祈っています。

3年生になる前の3学期、何をすればいいの？

①学習習慣の確立しよう!!

今日の課題考査はできた？

課題考査に向けて、冬休みにきちんと学習できた人は、そのままのペースで進めてください。
できなかった人は、明日からの授業に向けて、10分でも、15分でもいいから、家庭学習（授業の予習・復習）をしましょう!!

②今回の模試をきっかけに「受験生」になろう！

2月4日(土)に代々木模試が実施される。それに向けて準備をすること。全員受験です!!

■今回の模試の概要

教科・コース	配点	試験時間	
国語	200点	80分	現代文（評論・小説）・古文・漢文
数学①(I・A)	100点	60分	数学I、数学A
数学②(II・B)	100点	60分	数学II、数学B
英語	200点	80分	
リスニング	50点	30分	
地歴	100点	60分	日本史B、地理Bから1科目選択
理科	100点	60分	物理I、生物I、地学Iから1科目選択

◆受験型 A型：国公立大受験型（英・数①・数②・国・地歴・理）

B型：文系私立大受験型（英・国・地歴）

C型：理系私立大受験型（英・数①・数②・理）

◆志望校評価は、国公立・私立・短大から第4志望まで行います。

■「ペースメーカー」として利用。

今回の模試は、2年生までに学習した範囲の重要事項が理解できているかを問う
総まとめのテストだ。過去問を配布するので、計画を立てて学習しよう。

■補強すべき学習事項を確認しよう！

手ごたえや結果から、身につけていない分野・重要事項を確認し、模試受験後や春休みに
しっかり補強しておこう。

■志望校について考える絶好のチャンス！

受験勉強とは、「志望校に合格するための勉強」。今後の受験勉強をより効率的に進める
ためにも、今回の模試を機に、できるだけ志望校を絞り込んでおくことを心がけよう。

受験について

—親と子の最新大学受験情報講座理系編より抜粋—

■非受験科目は不要なのか？

英語などでも長文を読んで理解する力が問われている。難解な文章を理解したり、短時間で多くの
文章を読みこなしたりするには、話題に関する知識が必要だ。この知識を「背景知識」と言う。

近年では、「背景知識」が極端に少ない生徒が増え、現代文や英語長文の読解を苦手とするケースが
多く見受けられる。

現代文で「進化論」に触れた文が出題されたら、知らない生徒には理解できないし、たとえ理解

できて時間がかかって他の問題が解けないことも出てくる。

英語でも、東南アジアや南米の情勢をテーマとして英文が出された時、基本的な地理や歴史を知らない為に内容を理解できないことが出てくる。入試科目になくても、理科や社会の常識レベルの知識は知っておきたいところだ。

■予備校に入れば安心か？

極端な苦手科目や分野がある人は、予備校任せただけだと厳しい。各自で学力状況を分析して、必要な勉強を進めていく必要がある。中小の塾、予備校では、大手と比べて情報に強くないため、カリキュラムやテキストが最新の傾向に追いついていないところもあるし、進路指導が不親切なところが多い。「とりあえず塾に行こうか」はやめよう!!

とりあえず予備校に行く前に、刀根山で使っている教材を完ぺきにこなすこと。結構いい教材を使っています。また、学校の先生の方が、君たちの性格や、弱点、家庭の事をよく知っているの、きめの細かい進路相談が受けられるよ。

例：数学の「サクシード」、「B」の問題を完全に解ければ近大の推薦はOK
同志社は「青チャート」等々 英語や国語も同じですよ。

■入試で求められる力

○「教科書レベルの知識」と「勤勉さ」

継続してまとまった量の学習を続けることができるかどうか自体が問われている。「不合格」になるのは、この「勤勉さ」が不足しているからだ。「勤勉さ」を身につける為には「自己管理能力（やりたいこと）と「やるべき勉強」がある時、「やるべき勉強」を優先させるという判断ができる能力のこと。」という要素が強く求められている。

○自己管理能力をつけるためのヒント

「やるべき勉強」の内容を確定させて、それを他のことより優先的に仕上げること。

「なかなか勉強に手をつけられません」「やる気があるのに勉強ができません」「やる事が多くて何をしたいのかわからない」、こういう場合は、「勉強」の内容がはっきりしていない場合が多い。今日何をやるのか、明日、今週、今月は何をやるのか、しっかり具体的な計画を立てよう。

■進路目標が決まっていない君へ

進路決定は先延ばしにしても、勉強には集中しよう!!

高校生のうちから将来の目標を考えるのは難しいものです。むしろ悩んでしまって、学習に手がつかなくなるがほとんどです。「志望校や職業の決定は先延ばしにしてもいいから、少しでも可能性が広がるように勉強には集中しよう」そうやって勉強に集中した結果、成績が上がってくれば、新しい展開も考えられたり、広い視野で将来を考えるようになることが多いようです。

合格した先輩たちが語る！ 「高3直前 春休みの過ごし方」 ベネッセ HP より

次の学年を迎えるときに 理解していないところがないように

国公立大 工学系統 A先輩

1、2年生のうちには適当に勉強していればOKだと考える人も多いけれど、それは大きな間違いです。今までの勉強を振り返ってわからないところがないか、何度も見直しましょう。そもそも予・復習は苦手を作らないためにするものです。得意科目は先輩に次の学年の勉強をコツリ教わり、苦手科目はわからない箇所をきっちり把握して1つずつ消化する。そして、次の学年を迎えるときに、それまでの単元で理解不可能なものがないようにするのが基本です。これができていれば、高3は暗記のみで済みます。

春休みは何か1つやることを決めて それに専心しよう

国公立大 経済・経営・商学系統 B先輩

春休みは部活動など忙しいこともあるので、あれもこれもと欲張っている余裕はありません。何か1つやることを決めて、それに専心すればいいと思います。私は単語帳を1冊使い、毎日ノルマを決めて英単語を覚えていきました。その際に、最低3回は見直すように予定を組みました。その他にも、苦手教科の教科書の例題や基本問題を解き直しました。基本事項を一通り復習したことで、高3になってから受けた模試（特にマーク模試）で高得点が取れました。